

プラットフォーム名：

様式1) プラットフォームの連携体制・中長期計画の概要図(1ページ以内) ※全てのプラットフォームが記入

○現状・課題、ビジョン・目標(数値目標含む)、連携体制図(協議体制含む)、取組の抜粋等により、プラットフォームの全体像がわかるように作成してください。

【プラットフォーム名称】

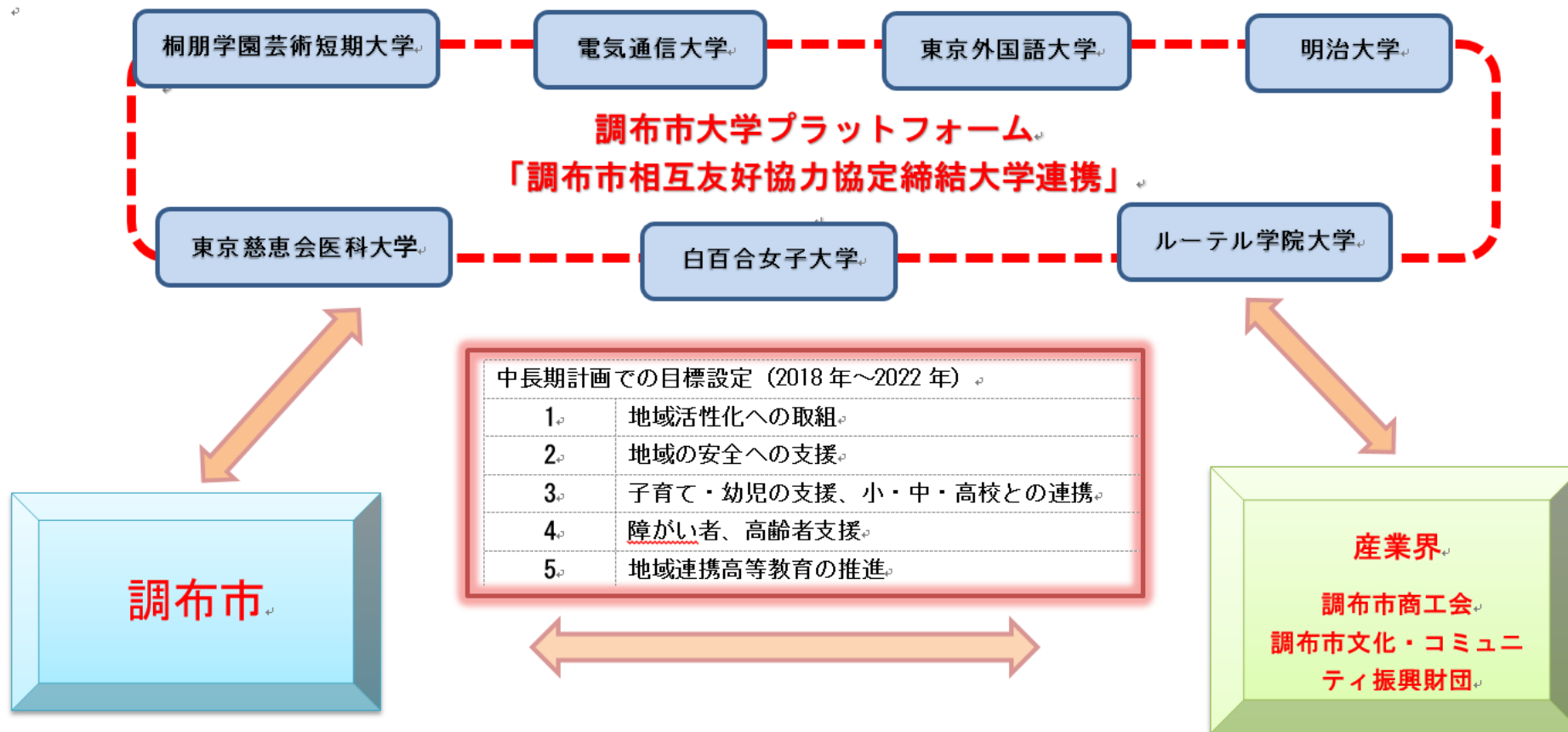
調布市大学プラットフォーム「調布市相互友好協力協定締結大学連携」

【課題】

調布市近郊を含めて地域社会においては、「家族」や「いのち」にかかわる問題や社会状況の中から生まれてくる様々な問題に関する解決が求められています。これらの解決のため、市民と行政、さらに高等教育機関のパートナーシップの構築や市内で学ぶ学生が広く市政に参加できる環境づくりが必要とされています。また、高等教育において、地域連携を基盤とした学生の主体的学習環境の構築が課題となっています。

【ビジョン】

調布市大学プラットフォームは、参画大学と調布市、産業界が連携し、地域の課題の解決に向けて活動するとともに地域と連携することによる高等教育の改善をビジョンとしています。



プラットフォーム名：

様式2) 中長期計画に対する自己評価 (1 ページ以内) ※計画策定から1年以上のプラットフォームのみ記入	
全体評価	S : 当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。 A : 当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。 B : 当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。 C : 当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。 D : 当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。
B	
評価理由	<p>調布市大学プラットフォームは、基本方針として、調布市を中心として、産業界と調布市相互友好協力協定の8大学が連携することで基盤形成を行うこととした。調布市大学プラットフォームは、2017年度から活動を開始し、当初は調布市と3大学のみの参画で形成した。2018年度は5大学の参画に拡大したが、残りの3大学の参画には至りませんでした。2019年度には、国立大学の電気通信大学と東京外国語大学の2大学が参加となりました。4年目の2020年度は、次のような活動を計画し、プラットフォームの基盤を整備してきました。</p> <ol style="list-style-type: none">① 参画していない1大学との意見交換② 産業界との具体的な連携活動の実施③ 大学間連携活動の推進 <p>上記のように、プラットフォームの活動はあるが、新型コロナウイルスの影響で、実施計画は新型コロナウイルスの感染拡大を防止する活動を検討していくこととした。また、当初計画の8大学の参画に至っていないことから全体評価は「B」としました。</p>
評価に関する備考 (考慮すべき事項)	
<p>4年目の2020年度調布市大学プラットフォームの活動を評価する上で、特記すべき点は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルスの感染拡大を防止する活動を検討していく。・共同での公開講座等の開催を検討する。・共同の調布市大学ゼミ展の開催を検討する。・共同での学生募集活動の実施を検討する。・共同でのFD・SDの実施を検討する。	

プラットフォーム名：

様式3) 達成目標・活動指標等 ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
地域活性化への取組	年間4件	(取組1) 調布市大学ゼミ展	(取組1の活動指標) 参加大学数	(取組1の活動実績) 8	A
		(取組2) サイエンスカフェ Chofu	(取組2の活動指標) 開催回数	(取組2の活動実績) 5	A
		(取組3) 調布市商工まつり	(取組3の活動指標) 参加大学数	(取組3の活動実績) 2	B
地域の安全への支援 地域連携高等教育の連携	年間2件	(取組1) 公開講座「調布市大学プラットフォーム・ボランティア養成講座～台風19号における調布市災害ボランティア活動-市民主体の活動を考える～」	(取組1の活動指標) 参加者数	(取組1の活動実績) 38人	B
子育て・幼児の支援、小・中・高校との連携	年間4件	(取組1)	(取組1の活動指標)	(取組1の活動実績)	C
障がい者、高齢者支援	年間6件	(取組1) セカンドライフ講座	(取組1の活動指標) 会議数	(取組1の活動実績) なし	C